



2022年夏
(通巻90号)

2022年7月発行

ちばケアマネ通信

URL <https://www.chiba-cmc.com/>

BCPをつくろう!(4回シリーズ・その1) ~ BCPはなぜ必要? ~ 災害対策委員会 委員 井上 創

アンケートでも皆さまからのご要望が高かったBCPについて、今号から4回にわたりポイントを解説したいと思います。

BCPはいつ発動するか分からない!

それは突然、発生しました。防災無線からの突然のアナウンスです。「〇〇地域では本日、17:00時頃から断水となる見込みです。復旧の目途が立っておらず、大変ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします……」勤務時間終業10分前の出来事でした。後に判明しましたが、老朽化している水道管破裂による市内広範囲の断水でした。水がないとどうなるでしょう? トイレ、食事、入浴、生活のあらゆる場面で、そして介護、医療支援において大きな支障をきたします。非常時には、お店からはあっという間に飲料水は消えてしまいます。自ら動くことが難しい要介護者、独居高齢者、遠方にいらっしゃる親族にはどう対応しますか? 施設ケアはどうなる? ケアマネが行なうべき優先業務は? まずはイメージしてみましょう。

BCPとは?

さあ、あらためてBCP(事業継続計画)とは何でしょうか? BCPとは、これまでの防災+α(プラスアルファ)と説明されています。事業所運営の視点からは、リスクマネジメントでもあります。日々の活動において、あらゆる危機的事象を乗り越えるためには、戦略と準備が必要になります。

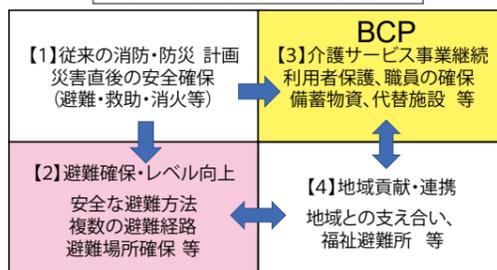
求められる役割

利用者、ご家族、そしてケアチームを支える要(かなめ)ともいえる介護支援専門員が緊急時に果たすべき役割は重要です。BCP(事業継続計画)の視点では大きく4つ挙げられます。

- 利用者の安全確保 ※
- 職員の安全確保
- サービスの継続
- 地域への貢献

※1 利用契約上における利用者の生命、身体、健康を危険から保護するように配慮する義務、すなわち「安全配慮義務」を負っています。また事業者は、そこで働くスタッフに対しても生命、身体等の安全を確保しつつ労働することができるよう、必要な配慮をする義務、すなわち「安全配慮義務」を負っています(労働契約法第5条)。

福祉防災計画の全体像



出典:厚生労働省老健局「業務継続ガイドライン(自然災害発生時)」p5, 2020.12.

次回(第2回)の予定
BCPをつくろう!(その2) ~ 感染症BCP ~
・事業を止めない ・経験を活かそう

令和4年度 第1回通常総会報告

令和4年6月11日(土)、事務所のある千葉市中央区の天気は曇り。研修会など参加者が集まる行事の当日は“空の様子”が気になっていましたが、最近はオンライン開催が増えたことにより(良くも悪くも!?)あまり気にならなくなりました。

令和4年度の第1回通常総会は、昨年に引き続きオンライン(Zoom)での開催となりました。当日の出席者は**412名(委任状出席含む)**となり、議長、副議長の進行のもと議案に沿って審議が進められました。お蔭様をもちまして、全ての議案についてご承認をいただきましたことをご報告させていただきます。皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。なお、当日の質疑などのやりとりについては当会ホームページに掲載しておりますのでご確認ください。

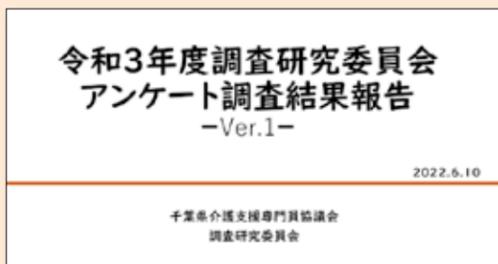
当日ご報告させていただいた事業の追加情報をお知らせします。

調査研究委員会事業の結果公表について

令和3年度事業の調査結果を当会ホームページに掲載しております。ご回答いただきました会員の皆様にあらためて感謝申し上げます。

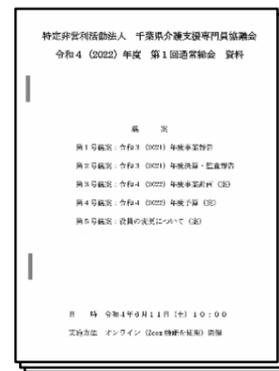
ホーム>委員会活動>調査研究委員会

<https://www.chiba-cmc.com/committee/research/>



【審議事項】

- (1) 第1号議案: 令和3(2021)年度事業報告
- (2) 第2号議案: 令和3(2021)年度決算・監査報告
- (3) 第3号議案: 令和4(2022)年度事業計画(案)
- (4) 第4号議案: 令和4(2022)年度予算(案)
- (5) 第5号議案: 役員の変更について(案)



南関東ブロック研修会について

令和4年度事業として開催を予定しています。実施は令和5年2月に、第104回研修会と合同で実施を予定しております(受講証発行予定)。

【南関東ブロック】
千葉県、埼玉県、
東京都、神奈川県



昨年は神奈川、
今年は千葉が開催県です!!

全国大会 参加レポート (第16回 inみやぎ)

事務局長 船津 良

第16回全国大会が宮崎県において実施されました。第14回大会 (inとちぎ) はコロナの影響で延期、昨年の15回大会では完全オンライン (オンラインのみ)、今回はオンラインと会場での“ハイブリッド”開催となりました。コロナ禍でも歩みを止めない“Withコロナ”での開催です。私はオンラインで参加しました。

今回のテーマは「超克 それぞれが次の時代の先導者へ」でした。私には聞きなれない言葉…超克 (“ちょうこく”と読むそうです) とは「困難を乗り越え打ち克つこと」だそうです。



私自身、全国大会にはできる限り参加しておりますが、参加するたびに感じるのは研修内容もさることながら、開催県が様々な工夫を凝らし企画・開催していることです。昨年からは、PR動画や挿入音楽、カメラワークなどオンライン研修ならではの技術が組み込まれ、足を運ばなければ知りえない地域情報も、オンラインでは複数の名所が動画として紹介され、現地に向くより多くの情報を得たかもしれません (笑)。今回は紙面の都合上、いくつかのプログラムを抜粋して報告 (感想) させていただきます。

【大会1日目】

毎年恒例となっております厚生労働省からの基調講演があります。いつもは介護保険最新情報など「紙面」として受け取っている情報を、直接聞けるととても貴重な機会です。今年も、厚生労働省老健局笹子宗一郎氏 (認知症施策・地域介護推進課長) から「2040年を見据えた介護保険制度を巡る動向と介護支援専門員へ期待すること」というテーマでお話がありました。非常にボリュームが多い内容であり駆け足となる部分もありましたが、時間の許す限りお話をいただきました。



【特別講演】 闘う意義～克服する力～

個人的にはこれが一番の楽しみでした。ただの“ファン”です (笑)。井上康生氏が講演することを聞いた時の率直な感想は…『嬉しいけど…なぜ井上さんなのか??』 驚きとともに「ケアマネジャーに対しどのようなメッセージをくれるのか」「私たちはそれをどう受け取り活かせるのか」でした。全日本の強化コーチを経て現在の全日本監督になり、リオオリンピックでの全階級メダル獲得 (史上初)、東京オリンピックでは史上最多となる5個の金メダル獲得という輝かしい記録に隠された舞台裏をユーモアを交えお話いただきました。

井上氏が監督になってまず先に行ったことは「組織のビジョンを示す」ことだそうです。これは選手、スタッフだけでなく、周りを巻き込むために示す必要があるとのこと。Vision (ビジョン)、Mission (ミッション)、Value (バリュー)。組織の基盤を確立し、“アップデート”していく。選手一人ひとりの自律 (自立) 性と主体性を大切に、全日本という「組織」をマネジメントする。さらに現代では様々な角度からデータ&テクノロジーの活用により「科学的根拠に基づいた分析」が行われ、試合、代表選考に向けた対策、方針、メニューが考えられているそうです。フェイクニュースもあり情報の“見極め”が大事、まさに情報戦です。

また、日本代表となれば関係する各機関は格段に増えるそうです。一つの新しいことを導入するにも、過去の歴史からのつながりも理解したうえで、関係機関に説明し、有用性を理解してもらうこと。さらには関係機関との継続した情報共有システムが構築されることが大切。当たり

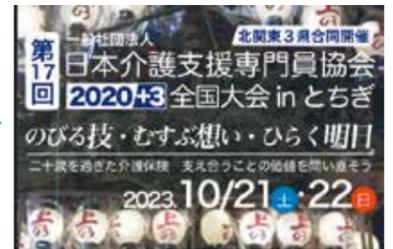
前のことが当たり前に行っている組織は強い。井上氏のお話は、アスリート界の特別な話でなく、人と関わりチームで取り組む仕事、福祉業界だけでなく、すべての業種、業界に通ずるお話だと感じました。

【2日目】 モーニングセミナー ～介護支援専門員の将来を考える～

埼玉県立大学大学院研究開発センター教授の川越雅弘氏と一般社団法人日本介護支援専門員協会の柴口里則会長がパネリスト、開催県の牛谷義秀会長が座長を務め行われました。まず柴口会長からは「介護支援専門員の国家資格」について、これまでの経緯説明がありました。続いて川越氏からは「国家資格とは何を指すのか」「業務独占」と「名称独占」の言葉を整理し、現状の介護支援専門員の業務や役割に照らしつつ議論がスタートしました。今後は現役世代の人口の急減という新たな局面に社会が突き進む中、ケアマネジャーがその役割を果たすためには「今」何をすべきか。まず我々は「力をつけること」が重要であり、医療と介護だけでなく「社会性」も含まれるニーズが高まった時に、対応できる人材を養成・育成していくことが重要になる。職能団体が自分たちの立ち位置を確認し、方向性を議論することはとても大切なこと。この議論は全国大会の恒例行事にしていきたいという言葉で締めくくられました。

【第17回はとちぎ (北関東合同)】

第14回大会では残念ながら延期になっていた北関東が戻ってきます。同じ関東圏として盛り上げていきましょう。



1日目 令和4年6月4日 (土)	
11:00	受付開始
12:00	開会セレモニー 国指定重要無形民俗文化財 高千穂の夜神楽 開会式 開会宣言 主催者挨拶 日本介護支援専門員協会会長 柴口里則 来賓祝辞 (予定) 厚生労働省、宮崎県知事、宮崎市長
13:00	基調講演 講師: 厚生労働省 (予定)
14:00	休憩・展示物見学
14:15	日本介護支援専門員協会 活動報告 日本介護支援専門員協会 会長 柴口里則 ケアマネ柳表彰式・永年表彰式
15:00	休憩・展示物見学
15:15	特別講演 テーマ: 闘う意義 ～克服する力～ 講師: 東海大学 体育学部武道学科 教授 井上康生氏
16:45	休憩・展示物見学
17:00	アトラクション ★アルケミスト生ライブ★
17:25	次年度開催地挨拶
17:45	1日目終了 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため懇親会は中止となりました。

2日目 令和4年6月5日 (日)	
8:30	受付開始
9:20	モーニングセミナー 介護支援専門員の将来を考える
10:20	休憩・移動
10:40	分科会 第1分科会 利用者の望む暮らしの実現に向けたケアマネジメント(尊厳の保持) 第2分科会 誰もが地域で暮らし続けるために(地域共生社会・地域包括ケアシステム) 第3分科会 ケアマネジメントの発展(進化・深化) 第4分科会 社会的地位の向上、組織力強化に向けた取り組み 第5分科会 もしもの備え
12:40	閉会
12:45	大会終了

うちのICT化 投稿

介護の現場のICT化は既に風景と化した。記録はスマホやタブレット入力。出先で書類を預かりコピーだったのが、書類をその場で写メしてクラウドで同期、オフィスのパソコンやタブレットでリアルタイムに共有、外で誰が何をやっているのかも見える化された。コロナで政策的な推進もあって一段と深化した観がある。インフラ化したのはチャットツールで、LINEなどその嚆矢だ。弊社はLINEとは別のツールを使用しているが、スタッフ達は、経営者の私や管理者がログを閲覧可能なところで下手を打つことはない。スタッフ間で既にLINEで遥か前から勤

務シフトの組成・調整、表にできない話を済ませている。それと、少し前のことだが、驚いたことがあった。弊社の別拠点のケアマネが介護業務上の面談に来たいという。コロナで人流抑制下の中、拠点間の会議打合せは、Zoomやビデオ通話で実施していた。介護ソフトで拠点間の動静は即時把握可能だが「ちゃんと顔を見て話したいと思いました」とサマリーを印刷して携えてきたのである。会いに来るにしろ、介護ソフト上で、先にここを読んでおけと連絡すれば済むはずが。虚飾のない物言いにはほだされた。このケアマネと面と向かって話したのはいつだったか。不思議な郷愁にも似た感覚を覚えたのである。

M.H

千葉市介護支援専門員協議会

会長 和田 浩明



【千葉市の紹介】

2021年3月に市制100年を迎えました。千葉市は千葉県のほぼ中央部にあたり、首都東京まで約40kmの地点にあります。県内幹線道路、及びJR・私鉄などの鉄道の拠点として、さらに情報通信網の起終点として県都にふさわしい要衝の地にあります。

【協議会の活動】

千葉市介護支援専門員協議会は平成16年2月に設立されました。千葉市内の介護支援専門員の組織として、知識・技術・資質の向上と職業倫理の向上及び介護保険の情報収集等の支援を目的とした職能団体です。

千葉市在住もしくは千葉市内の事業所に所属している方が会員の条件となります。

年会費は2000円で、個人単位での登録となっています。

令和4年4月時点での会員数は184名です。

協議会の運営は医師、歯科医師、看護師、薬剤師、社会福祉士、介護福祉士の資格を有する介護支援専門員10名で構成されています。

ホームページは令和元年5月に開設しました。千葉市の鳥の「コアジサシ」をシンボルマークにしています。

打ち合わせ会は毎月開催（ZOOM）し、研修会の検討や千葉市の関係団体の会議についての報告がメインとなっております。

協議会には多岐にわたる会議や部会への参画を求められており、役員で分担し、連携を図っています。令和3年度は『千葉市在宅医療・介護連携支援センター』の『エンディングサポート事業』に協力し、『おひとりさま支援の手引き』を制作し会員へ配布しました。

機関紙は年に4回（不定期）発行しています。研修会やアンケート結果の報告が主ですが、『千葉市消費生活センター』発行の『消費者被害注意報』は毎回最新号を同封していますし、他に有益な事業者団体からのパンフレット等も同封し情報提供をしています。



【研修会について】

年に4回開催しています。現在はすべてZOOMでの開催となっています。研修テーマは、ケアマネとしての必修である、虐待や災害対策を中心にケアマネジメント業務に少しでも役立てられる内容になるものを提供出来るように努め



研修会風景



研修会風景

ています。4回の研修会はすべて3時間以上で修了書を発行しています。研修会では役員は感染対策として、2～3か所に分かれて司会、連絡係、参加者確認にあたっています。3時間研修会に参加している事の確認をとるために、スクリーンショット、

グループワークや投票機能等駆使しています。役員の多数はオンラインに不慣れでしたが、試行錯誤を繰り返すようやくスムーズな進行が出来るようになってきています。参加費は無料としています。研修会是非会員の方は参加費収めていただければ参加できます。研修の案内はホームページに掲載しますので、興味のある方はぜひご参加下さい。今後も個々の介護支援専門員が介護保険制度の理念に即したケアマネジメントを展開しその役割を果たしていけるようなお手伝い出来るように努めてまいります。



当会広報誌 「ちばケアマネ通信」に 広告を掲載しませんか？

1/4 ページ	5万円
1/8 ページ	3万円

※全てカラー広告

ご希望の方は、当会までご連絡ください

※広告内容については、審査がございます。

※このスペースは1/8 ページです。

千葉県庁だより 県からの お知らせ

新型コロナウイルス感染症に係る 臨時的な取扱いについて

新型コロナウイルス感染症の影響により研修日程が延期になるなど、本来の資格更新の時期を過ぎてしまう介護支援専門員に対し、臨時的に資格を喪失しない取扱いをしています。臨時的取扱い期間に該当する方が更新研修を受講せず、介護支援専門員証の更新ができなかった場合は失効期間に介護支援専門員業務を行ったこととなり、失効日まで遡り、本人・事業所ともに処分の対象となりますので御注意ください。

有効期間満了日が令和2年の方は令和4年中に取扱いが終了します。千葉県介護支援専門員協議会会員の皆様におかれましては、同一法人や事業所にお勤めの方にも御確認いただくと幸いです。

詳細は【介護支援専門資格をお持ちの方へ】をご確認ください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/koufuku/kaigohoken/senmonin/kaigoshien/index.html>

介護支援専門員が受講資格の研修について

高齢者福祉課介護制度班で実施している「認定調査員研修」及び「小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修」の受講は、有効な介護支援専門員証をお持ちの方が対象です。受講後は修了者名簿へ登録し、「修了証書」がそれぞれ発行されます。

受講に際しては、市町村が窓口となり、受講が必要な方に御案内しております。

希望者が全て受講できる研修ではありませんが、全国で同業務を行うことが可能です。

【参考】認定調査員研修

新規研修 令和4年4月、令和5年3月頃

現任研修 令和5年2月頃

小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修

【第1回】令和4年 7月21日(木)・22日(金)

【第2回】令和4年10月20日(木)・21日(金)

【第3回】令和5年 2月 9日(木)・10日(金)

介護保険に関するお問い合わせは
☎ 043-223-2387

みんなの介護 事務局です!! 90

法定研修の最新情報・進捗状況等の確認方法について

更新研修の開催については当会のホームページに毎月2回(1日と15日(土日祝日の場合は翌平日))、その時点の最新情報・進捗状況等を掲載しています。

必ずご確認ください申し込み忘れのないようお願いいたします。

【確認方法】

① **千葉県介護支援専門員協議会** **検索** で当会ホームページを開く。

② トップページ内のインフォメーション「**重要なお知らせ** 研修受講者・受講予定の皆様へ」をクリックする。



研修会情報

重要なお知らせ 研修受講者・受講予定の皆様へ

研修委員会からのお知らせ

①第100回研修会について(ご報告)

令和4年6月11日(土) 会員限定の総会記念研修会としてZOOMウェビナーにて実施しました。テーマは「地域医療の危機管理とケアマネジャーへの期待」、講師は衆議院議員で、日本医科大学特任教授、千葉県医師会理事の松本尚先生、参加者は134名でした。

講義では、新型コロナウイルス感染症対策における先生のご経験から「危機管理における組織体制の重要性」についてのお話があり、国や県の危機管理体制の実際や課題など、普段知ることの出来ない情報を得ることができました。また後半は「危機管理下において我々介護支援専門員に求められること」として『想定外を想定すること』の必要性や、社会全体から期待される介護支援専門員の役割や機能について知ることができました。

②第101回研修会について(お知らせ)

令和4年8月21日(日) 午前に第101回研修会を開催します。千葉県歯科医師会理事で歯科医師の水町裕義先生を講師に招き「実践力向上! 高齢者のお口の機能と口腔ケア~歯科医師との効果的な連携のしかた~」として、介護支援専門員による歯科医師、歯科衛生士との連携について学びたいと思います。詳しくは、同封のチラシをご確認ください。会員の皆様の参加費は1,000円となります。また受講証明書の発行もいたしますので、皆様、是非ご参加ください。

③今後の予定について

第101回以降の研修会の予定をお知らせいたします。

開催日	開催方法	講師	内容	受講証発行
第100回 6月11日(土) 14:00~15:20	オンライン	松本尚氏 衆議院議員 日本医科大学 特任教授 千葉県医師会 理事	地域医療の危機管理 とケアマネジャーへの期待	なし
第101回 8月21日(日) 9:30~12:45	オンライン	水町裕義氏 水町歯科医院 院長 千葉県歯科医師会 理事	実践力向上! 高齢者のお口の機能と 口腔ケア ~歯科医師との 効果的な連携のしかた~	あり
第102回 10月15日(土) 時間調整中	オンライン	調整中	調整中	あり
第103回 12月17日(土) 時間調整中	オンライン	調整中	調整中	あり
第104回 令和5年 2月または3月 時間調整中	未定	調整中	調整中	あり

編集後記

6月下旬に早くも梅雨が明け、炎天下の真夏がやってきました。ケアマネにとってはご利用者の体調が心配ですが、その期間が長引くことが予想されます。コロナもありマスクや予防衣を準備しての暑い中での訪問、本当にご苦労様です。この災害級の猛暑を、どうか、どうか無事に乗り切ってもらえることを祈っています。

広報委員 山口 定之